

## 会議概要

件名	令和5年度第1回 鹿児島市公共交通不便地における持続可能な交通手段調査検討会
日時	令和5年7月10日（月） 10時15分～11時30分
場所	鹿児島市役所 西別館2階 201会議室
出席者	学識経験者、関係行政機関の職員（計4名） （事務局：鹿児島市企画財政局企画部交通政策課）
会次第	1 開会 2 委員紹介 3 あいさつ 4 会長及び副会長選出 5 協議事項 （1）公共交通不便地対策事業の経過及び現状・課題について （2）公共交通不便地における持続可能な交通手段調査検討事業について （3）今後の検討の進め方 6 その他 7 閉会
主な意見等	<b>【会長及び副会長選出】</b> ・会長 鹿児島大学 名誉教授 井上 佳朗 委員 ・副会長 鹿児島市企画財政局企画部長 福田 大作 委員  <b>【主な意見】</b> ・ 交通弱者だけでなく、勤労者等などにも使ってもらい、潜在的な需要を発掘する取組みも重要。 ・ 利便性向上を図る上で、地元の大学生と連携・活用した取組も考えられる。 ・ 地元の要望は大事であるが、公共交通不便地の将来の姿を考える上では、生々しい具体的なデータも地域に示した上で、将来の姿を一緒に考えることが大事である。 ・ 最終的に何のためにするのか。AIオンデマンド交通を走らせるということが目的にならないようにすべきである。公共交通不便地の最適解を地域の利用者や交通事業者など、みんなで話をして、将来の姿を決めることが重要である。